



大西 誠 議員

伊予市に企業を誘致しよう

問

①現在の企業誘致促進条例の長所と短所は。
②魅力ある条例に改正し、伊予市に企業を呼び込むうではないか。

答

産業建設部長

①本市の優遇助成としては、企業立地促進奨励金、雇用促進奨励金があるが、県内各市町の優遇助成措置と比較しても、内容的には大差はないと考えている。
しかし、本市には他の市町で制定されている用地取得に係る優遇措置制度がない。



条例改正の効果で企業誘致を目指す埋立地

答

産業経済課長

②今回奨励金として交付する金額のリストの改善を考えていきたい。
雇用促進についても、単価が安いのではないかといいことで、引き上げ等も検討したいと考えている。

今回、用地取得奨励金を新設しようということで、来年4月1日からの施行に向けて検討を進めている。

伊予市にメガソーラーをつくらう

問

①全国的なメガソーラーの誘致合戦をどう把握し、どう考えているのか。
②四国内におけるメガソーラーの進行状況は。
③伊予市（湊町埋立地）にメガソーラーを誘致しようではないか。

答

中村市長

①自然エネルギーで電力を確保できることは大変有意義なことであるが、広大な用地が必要のため、市保有の用地では適当な場所がなく、誘致は考えていない。
②四国で唯一導入しているのが、四国電力の松山太陽光発電所で2042キロワットの出力を有し、2022年度までに4300キロワットに増やす予定である。香川県では、用地規模など、事業化に向けた条件面や課題を検討している。

徳島県では、候補地5カ所を選定し協議を行っている。
③湊町埋立地は、県管理地であり、施設誘致で地元の新規雇用や経済効果が発生するのか、有効な施設となるのか、研究していきたい。

伊予市の特産物をPRしよう

問

①市内の特産物の認定・PR状況はどうなっているか。
②本市の認定特産物（仮称）をもっとPRしよう。
③市・議会一体となって県内外に売り込もう。

答

中村市長

①県が行う「愛」あるブランド事業の取り組みを推進している。本市では唐川ピワ葉茶、特選中山栗、干しシイタケ等が認定されており、今後一層のPRを進めていく。

②本市独自の認定制度については、「あじの郷」づくり実行委員会でも議論された経緯もあり、今後さらに他市の状況を勘案し、検討していきたい。
③9月11日に開催した伊豫国「あじの郷」フェスタには、1万人を超える集客があり、大いにPRできたと思っている。
9月27日から29日まで、愛媛県大阪事務所・市・観光協会・商工会議所とともに伊予市観光物産フェアを開催し、特産品のPRを図ることにしている。



大阪で開催した観光物産フェア